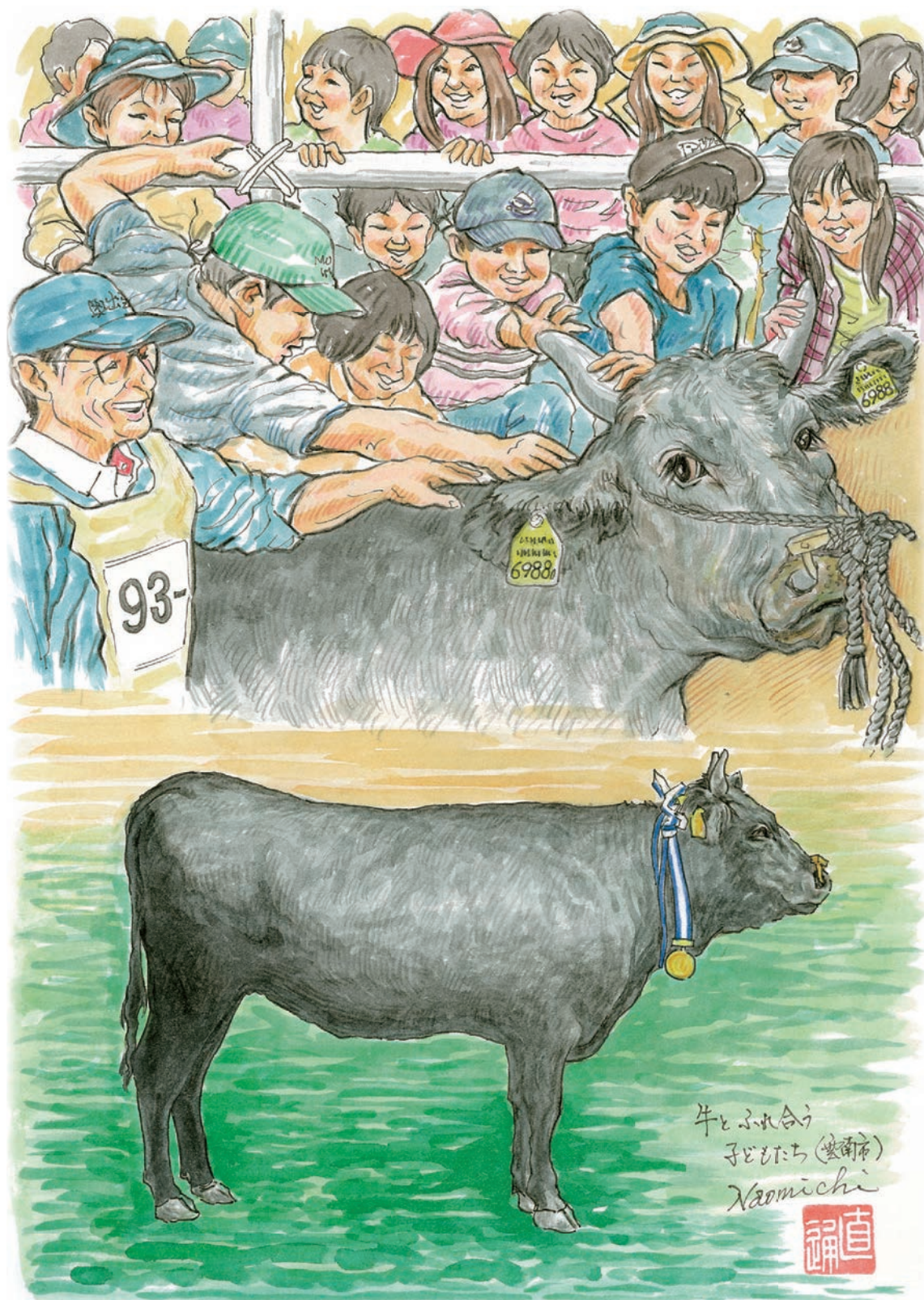


2018

JAしまねびより 12

December Vol.33

特集 島根のいいもの再発見!! 「雲南市 みどりちゃん」 雲南地区本部
— 臨時総代会開催 —



牛とふれ合う
子どもたち(雲南市)
Naomichi
直禰

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



素敵な笑顔とお話に、愛情を込めた野菜づくり、地域づくりへの想いをひしひしと感ずることができました。

【雲南市 みどりちゃん】

12月は、雲南地区本部。雲南市掛合町で、水耕栽培による「みどりちゃん」ブランドの野菜の生産に取り組む、(有)だんだんファーム掛合、代表取締役社長・香川昇司さんにお話をお伺いしてきました。



お話をお伺いした香川社長

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！



標高約200m、掛合町の日照条件の良い山間にだんだんファームのハウスは立ち並んでいる。

農業経営をはじめたきっかけや概要を教えてください。

平成14年に町内の建設業者の経営者6人と賛同者13人とで「もつと元気な町づくりに貢献しよう」と、だんだんファームを設立しました。今年で16年目になり社員5人、パート12人で野菜の生産をしています。すべての野菜を水耕で栽培しており細ネギやミニセロリ、サラダホウレン草、サラダ水菜を取り扱っています。みどりちゃんシリーズを生産している農家は現在、12戸・計2ヘクタールで生産しており、このうち約半分の出荷量を当社が担っています。ハウスは合計18棟、年間の生産量は細ネギが約53t、ミニセロリ約6t、サラダホウレン草約51t、サラダ水菜約32t前後を生産。県内をはじめ関西や山陽方面に出荷しています。



薄膜型で育てられるサラダホウレン草



湛液型で育てられる細ネギ

水耕栽培はどのようにして行っていますか？

ハウス18棟のうち細ネギ・ミニセロリ用に8棟、サラダホウレン草・サラダ水菜用が8棟、それぞれの育苗用に各1棟使用しています。幅8・5m、長さ67mのハウス内に高床の栽培ベンチを設け、一定間隔で穴を空けた専用の発



緑の絨毯（じゅうたん）という表現がピッタリなほど、衛生的に管理されたハウス内に作物の緑が映える。

ポスチロールパネルを敷いて穴に苗を植えます。細ネギとミニセロリは根を培養液に浸す湛液型（たんえき）で、サラダホウレン草とサラダ水菜は培養液を浅く流し続ける薄膜型（はくまく）を採用しています。水耕は春夏秋冬、年間を通して栽培できるほか土耕に比べて1.5倍程度、成長が早いとされています。そのため1年で栽培する回数を増やすことができ、細ネギ・ミニセロリでは年間7回余り、サラダホウレン草とサラダ水菜は17〜19回前後、繰り返し生産しています。

水耕栽培のメリット、デメリット、こだわっていることなどありますか？

メリットとして水耕栽培は、季節にとらわれることなく温度管理することにより一年中栽培することができま

す。デメリットとしては、設備

投資に費用が掛かりハウス内の温度、水温、送風機等を管理するための光熱費用が周年で必要になってきます。また狭い場所で栽培するので、病気が発生するとハウス内に広がるため水質やハウス内の管理を徹底しています。

また、野菜の価格変動等により、出荷できないリスクを軽減するため、細ネギ、ミニセロリ、サラダホウレン草、サラダ水菜と品目を分散し計画的に生産しています。平成23年には優れた品質と安全性を第3者機関の判断をもとに県知事が認証する「美味しまね認証」をみどりちゃんグループ全員で取得しました。手洗い、ハウス内の清掃など徹底した衛生管理を行っています。サラダホウレン草やサラダ水菜などは悪い雑菌が付くと病気が発生するので、水道水（他の生産者は水質検査を行った地下水）を原水に使用。栽培当初から太陽熱システムを活用し60℃の温水で殺菌消毒し、できるだけ農薬を使わないように工夫しています。

水耕で育った野菜は味の違いはありますか？

水耕の野菜は柔らかくて癖のない味になります。サラダホウレン草やサラダ水菜は生のままでも食べられるので「サラダ」という名前を付けています。ネギも辛味が少な



水耕栽培された作物はとにかく綺麗で根っこまで真っ白。



生野菜が少し苦手な取材班も試食させてもらい、そのうまさに納得。

みどりちゃん 一口メモ

雲南地区本部では水耕野菜のブランドとして「みどりちゃん」を創設し、生産農家全員で品質の良い製品を安定供給するため、産地全体で品質向上、栽培マニュアルの統一や計画的な生産、販売促進等を戦略的に推進している。平成20年にはJGAP（日本版の適正農業規範）の団体認証を受け、現在は128項目にわたる基準をクリアした「美味しまね認証」を取得、安全野菜の生産に邁進している。標高200m余りの中山間地域での大型水耕栽培に取り組むだんだんファームは地域の雇用と産業創出を生み出し、今後の更なる活躍が期待されている。



今後の抱負や展望を聞かせてください。

水耕栽培には、1年を通してまんべんなく管理する必要があり、逆になんか周りで仕事があるという良さでもありません。当社の社員は20

く手巻き寿司の具として生のままスティック状で使っているだけでいい。サラダや蒸し鍋、野菜しゃぶしゃぶなど老若男女問わず家族の皆さん全員で食べてもらえればいいです。以前、地元の小学3年生全員にサラダ水菜やサラダホウレン草を食べてもらったことがあります。ホウレン草が食べられない子供でも食べるようになった。イメージとしては5月の山菜の新芽に近い感じでしょうか。味や食感のほかに、根っこを切ってサッと水洗いするだけで食べられる「手軽さ」があり、お客さんにも喜ばれています。



地域の雇用と産業創出。香川社長の熱い想いが着実に根をはりだしている。

30代の若い世代で構成しています。将来的には全員に任せる施設を作って永続的に携わって欲しいと考えています。当社のモットーである「人を幸せにする野菜づくり」は働く人のため、美味しい野菜を心待ちにしている消費者のため、という想いからです。「みどりちゃん」ブランドの野菜を今後も大切に作り続けていこうと考えています。



議長団 (向濱総代(左)、熊谷総代)

当日は、総代定数1,000人(欠員11人)に対し、963人(本人出席541人、委任状5人、書面出席417人)の出席。議長団に向濱樽幸氏(隠岐とうぜん地区本部)、熊谷直道氏(石見銀山地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、運営体制改革にかかる定款変更等の臨時総代会議案が可決承認されました。

開会にあたり竹下組合長は「6月の総代会以降、協議を重ね本日の運びとなった。ご承認をいただき、組合員目線の改革をすすめたい」とあいさつしました。JAしまねでは、平成30年6月24日の通常総代会で「運営体制改革の取り組みについて」の決議により、改革の骨子とスケジュール等の承認を受け、平成31年6月通常総代会での役員改選以降の新体制を目指して検討・協議をすすめてきました。

この経過を踏まえ、この度の臨時総代会では定款の変更を議案として提出し、可決承認されました。主な内容は、次のとおりです。

● 役員定数の削減

理事65人を40人に、監事9人を6人に削減します。(うち常勤理事は33人を17人に削減します)

● 常勤理事体制

常勤理事を本店に5人、各地区本部に1人(出雲地区本部は2人)配置します。また、本部長を補佐する役割として、くにびき地区本部および雲南地区本部へ執行役員を各1名、全ての地区本部へ統括部長(兼務)を配置します。

● 運営委員会の強化

組合員の意思反映の重要な組織として、地区本部運営委員会を強化することとし、多様な組合員の意見が反映されるよう、役割を再確認するとともに構成の見直しを図り、また委員会の運営を報告中心から意見交換中心の運用となるよう見直します。

この度の議案の可決承認を受け、JAしまねは、厳しさを増す諸情勢のなかで、新たな体制のもと、組合員の意思反映・議論の場を確保しながら、迅速・的確な判断・意思決定を行います。また、協同組合としての民主的運営と健全経営のバランスをとりながら、1JAとしての効率化、統合メリットの一層の発揮に向け、新たな運営体制を構築し、スピード感のある改革と、組合員へのサービス向上に努めてまいります。

臨時総代会 Q & A

質問… 役員年齢制限について、内規では「70歳」と定められているが、現在の農業従事者の平均年齢71歳を踏まえ、定年延長について検討してほしい。

回答… 統合以前の状況や各県の状況を考慮し、70歳とした経過があります。今後、変更が必要な状況となった際には検討いたします。

質問… 非常勤役員削減数が少ないように感じることがある。

回答… 非常勤理事についても半数程度の削減を行います。女性層の意思反映のため女性枠を拡充し、また若年層の意思反映のため青年枠を設けています。皆様の意思反映を考慮した運営体制を目指していますので、ご理解願います。

質問… 運営委員会を再構築するところだが、現在どのような問題があるのか。

回答… 地区本部執行部からの報告事項が中心となっている現状から、運営委員会を通して地域の声を執行部へ投げかけるという本来の姿とするため、再構築を図るものです。

質問… 組合員の世代交代が進むなか、組合員が離れていくことの無いよう、今回の改革が運営に負の資産として尾を引かぬよう、協同の精神のもとでよりよい島根の農業を目指してほしい。

回答… 地域に根差した農業、儲かる農業の実現、地域組合員の繁栄に向け、まずは身を切る改革を行わせていただきます。組合員の皆様に、引き続き統合メリットを受けていただけるよう、健全経営を堅持する仕組みを作り上げてまいります。

この他にも幅広くご意見をいただきました。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

【邑南町】 鵜瀬 頼秀さん・敬子さん

鵜瀬さんは邑南町で、園芸作物（露地・施設）を中心に農業経営をしています。

平成26年に、邑南町が主催しているU・Iターン者を対象とした農業体験に参加したことをきっかけに、大阪市から邑南町に移住しました。農業法人や園芸農家での研修を経て、平成29年1月に夫婦で就農しました。もともと畜産経験があったため、水田放牧を行っている農業法人で構成員として畜産経営も手伝っています。



野菜栽培の経験はなかったため、町内の園芸農家の元で研修を積み、地域住民と交流を図るなかで農地を確保し、野菜の栽培をスタートしました。本格的に就農するにあたってハウスが必要と考え、JAしまね農業振興支援事業施設等整備支援を活用し、平成28年にハウス2棟を整備しました。現在、施設内ではキュウリを中心とした作物の栽培をしています。露地では、なす、葉物野菜、タマネギなど多品目の栽培に挑戦し、どの品目の収益性が高いか、夫婦で作物分担を行いながら日々研究をしています。

今後は個人のハウスの増棟や経営面積の拡大を図り、農業法人の水田放牧にも引き続き携わり、地域と一体となって営農に従事していきます。

全組合員調査のお願い

組合員の皆さまの ご意見をお伺いする 取り組み



JAでは平成31年から全ての組合員の皆さまを対象とした全組合員調査を実施します。

調査では、現在JAが取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いします。

組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。

つきましては、全組合員調査への組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

理事会情報（10月30日開催）

協議事項

- ①大口貸出金の承認について
- ②平成30年9月末仮決算について
- ③業績還元のお考え方について
- ④次期中期経営計画（平成31～33年度）における本店損益配賦基準について
- ⑤職制規程の一部改正について
- ⑥農林中央金庫への劣後ローンおよび後配出資の対応について
- ⑦出資口数の減少（減口）の承認について
- ⑧行方不明組合員等の脱退手続きに係る資格確認について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

雲南

長期格納前に農機点検 鍋山アグリサポーターズ

雲南市三刀屋町鍋山地区の若手農業者らが組織する鍋山アグリサポーターズ（NAS）は11月4日、農業機械の長期格納前に点検講習会を開きました。

雲南地区本部農業機械課の難波博貴職員がコンバインやトラクターのセルフメンテナンスの項目を解説し「講習内容をもとに点検してほしい」と呼びかけました。

NAS代表の柳原昌広さん（53）は「農業機械の故障や不具合は、多大な機会損失にもつながる。自分たちの財産を守るためにも怠らないようにしたい」と話しました。

同地区では一昨年に、鍋山担い手ネットワーク協議会が設立され、組織や集落の枠組みを超えた連携を図り、農業生産活動の体制整備を進めています。今春6月には新たにNASを設置し、担い手育成に向けた講習会などの充実化を目指しています。



トラクターのメンテナンスについて解説する難波職員

隠岐

隠岐の島町 いきいき祭りでにぎわい

11月25日（日）、隠岐の島町、隠岐島文化会館において「いきいき祭り」が開催され、隠岐地区本部からも参加いたしました。

当地区本部からは、「しまね和牛」および管内で生産された特別栽培米「島の香り隠岐藻塩米特選さぬむすめ」のPRのため、しまね和牛の鉄板焼きと隠岐で飼育された闘牛肉と藻塩米を使用した牛丼を格安で提供しました。おいしい黒毛和牛肉を食べられるとあって長蛇の列となり、お昼時には完売するほど盛況でありました。また、同会場において隠岐の島町畜産共進会を開催し、田中美砂子さん（隠岐の島町都万）飼育の繁殖若雌「たかやす」号がグランドチャンピオンとなりました。



くにびき

くにびき農業法人会 児童養護施設に新米を寄贈

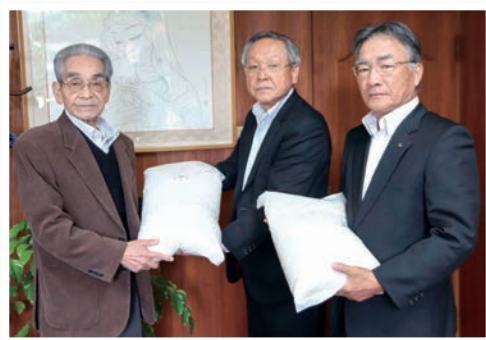
くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は10月30日、児童養護施設双樹学院（小林康熙院長〔写真左〕）へ地元産の新米1,110キロを贈りました。

同会は、くにびき管内の17組織で構成されており、2011年から地域貢献活動の一環として、各法人に米の提供を呼び掛けて同学院に新米を寄贈しています。

当日は、農事組合法人のぞみの里古志ファームの長野博代表理事組合長（写真中央）と農事組合法人林本郷の福間泰正理事（写真右）が代表して訪問。新米10キロ入りの袋を小林院長に手渡しました。

小林院長は「育ち盛りの子が多く、お米の寄贈はとてもありがたい。子ども達には感謝して食べてもらいたい」と謝辞を述べました。

同会は引き続き、双樹学院に新米を贈呈します。



やすぎ

おむすびでニコニコ

JALしまねやすぎ女性部が、地区本部の各支店でJA職員などへ感謝の気持ちを込めておむすびを振る舞いました。米の消費拡大のためJALしまね女性部が取り組む「ニコ（2個）・ニコ（2個）おむすび大作戦」の一環として、やすぎ女性部は「おむすびバイキング」を企画しました。

島根県産つや姫の新米を使用し、定番の塩おむすびや昆布おむすび、ちょっと工夫をこらしたカリカリ梅おむすびやゴーヤの佃煮入りおむすび、今が旬のサツマイモおむすび、豪華なたらこおむすびやサザエの炊き込みご飯おむすび等、各支店でオリジナリティーあふれるおむすびに加え、安来産野菜を使用した具たくさん汁等を考案し振る舞いました。食べ終えた職員は「おいしいおむすびでこれからの業務に励めます」と話しました。



斐川

そば「出雲の舞」収穫

11月8日、斐川地区本部が管理する約5aの圃場で、今年の8月に種を蒔き、約70cmに成長したそば「出雲の舞」の収穫作業を行いました。くらしの活動事業の一環として「自分達で栽培し、収穫したそばを打って美味しく食べよう」と企画され、同町のそば生産者である糸賀充さんを講師に迎え、そば好きの地域組合員6名とJA職員が鎌を使って刈り取り、束にしたものをはで場に干していきました。台風による影響で倒伏している箇所も見られましたが、順調に成育し、たくさんの実をつけたそばが出来ました。参加者は「実際に種を蒔き、収穫することは始めて。汗を流して作った分、そばを打って口に入れるのが楽しみです」と期待を込めていました。今後は、2週間ほど乾燥させた後、脱穀したそばの実を唐箕を使って選別する予定となっています。



刈り取ったそばを束にしていく様子

隠岐 どうぜん

海士町産業文化祭開催

11月17日・18日の両日、海士町役場周辺を会場として、第48回海士町産業文化祭が開催されました。会場には初日から祭りを盛り上げようと沢山の出店が並び、海士支店も地元のJAらしさを意識した、地場産農産物の米・もち米・みかんや、JA農産加工場で製造した赤飯・餅などの加工品を販売しました。また特設会場では、農業機械の展示・販売が行われました。2日目には、隠岐開発総合センターで、「はくさい・だいこん・ねぎ」の3品目による野菜品評会が行われ、外観の美しさ等の審査基準による品目ごとの金・銀・銅賞が発表されました。さらに、役場庁舎前では海士町畜産共進会が開催され、畜産農家自慢の12頭の子牛が出品されました。厳正な審査の結果、昨年に続き戸嶋正史さんの愛牛「ふく号」がグランドチャンピオンに輝き、見事2連覇の栄冠となりました。肌寒く雨も心配されましたが、賑やかな産業文化祭となりました。



石見銀山

農青連盟友が農大生に ポン菓子作り指導

JAlまね石見銀山青年連盟は11月8日、大田市内のJA米倉庫で、島根県立農林大学校の学生19名にポン菓子作りを指導しました。

同校は11月に開催するイベントで、ポン菓子を初めて販売するため、地元の農青連に指導を仰いだものです。

農青連が作るポン菓子は、JAふれあい祭での人気商品となっています。

この日は、水飴の作り方やポン菓子機の使い方など盟友が丁寧に指導しました。

農青連では、農業や組織のあり方を内外にアピールする「ポリシーブック」を制作しており、後継者育成の一貫として「農大生との交流」を活動計画として掲げています。

竹下幸二委員長は「今までありそうでなかった交流なので機会が持てて嬉しい」と語りました。

農青連は今回の交流をきっかけに農大生との座談会等の開催を検討中で、組織や大田市の農業に関心を深めてもらう機会を増やしていきます。



ポン菓子の作り方を指導する農青連盟友

出雲

強盗対応訓練実施 防犯への意識高める

出雲地区本部は10月25日に西田支店、10月29日に上津支店で強盗対応を想定した訓練を実施しました。この訓練は非常時に冷静な対応ができるよう、出雲警察署と連携して各支店で定期的を実施しているものです。

訓練は、強盗に扮する警察官が刃物を突きつけて人質を取り、現金を奪って逃走する想定で実施。大声で脅され続ける中、職員はそれぞれの役割に従い冷静に対応しました。訓練後、警察署の方からうまく対応できていた点や注意すべき点を総括いただき、利用者様、職員の安全を最優先に考えて対応するよう指導を受けました。

上津支店の福田哲也支店長は「強盗役の予想外の行動もあったが、職員も落ち着いて対応してくれた。いろいろな状況を想定できた」と話しました。



人質に取られる福田支店長

西いわみ

法人が学校給食用に お米を無償提供しました。

津和野町の農事組合法人で作る「わくわくつわの協同組合」（理事長糸賀盛人）は10月31日、同町奥ヶ野の「おくがの村ライスセンター」で学校給食用米の贈呈式を行いました。津和野町内の小中学校へ3トンのコシヒカリを無償提供します。

この量は、町内児童生徒約400人の年間消費量の3分の1に相当します。

贈呈式では、糸賀理事長が「農業の大切さとふるさとの味を覚えてほしい」と、町立木部小学校児童に手渡し、お礼に児童らが歌をプレゼントしました。

お米は組合に加盟する12の法人が提供し、JAしまね西いわみ地区本部が精米し各学校に配ります。



贈呈式に出席した児童らに、食の大切さを説く糸賀盛人理事長

島根おおち

女性部腹部超音波検診

島根おおち女性部桜江支部は11月16日と22日、健康管理活動として桜江営農生活事業所駐車場で腹部超音波検診を行いました。腹部超音波検診は血液検査ではわかりにくい各臓器の状態を検査するもので、痛みもなく簡単に検査を受けられることから、当初は1日で行う予定の検診に56名の申込があったため、急遽2日間に分けて検診を行うこととなりました。22日には川本支部でも検診を行い、三原公民館にて12名が検診を受けました。

また16日には、腹部超音波検診実施に合わせ、金融共済部と組合員課で胸部CT検診も同時に行いました。胸部CT検診には女性部からの声掛けもあり、男女合わせて22名の方が受診しました。

会場内では、「検診は必ず受けるようにしている」、「検診を受けることで安心できる」と言った声も聞かれ、島根おおち女性部桜江支部の田野部長は「多くの方に検診を受けてもらえてよかった。行政機関等でも行われているため受診の機会は多くなっているが、今後も部員の健康管理のため定期的に健診を行っていきたい」と話しました。



本店

各地で共進会を開催

●西部地区子牛共進会

10月26日に西部家畜市場で平成30年度西部地区子牛共進会を開催し、西部地域から選抜された肉用雌子牛18頭の出品がありました。

審査の結果、最優秀賞には、益田市の佐々木恵美さん出品牛「こはる号」が選ばれました。



最優秀賞に選ばれた佐々木さんの出品牛「こはる号」

●島根中央子牛共進会

10月31日に島根中央家畜市場で平成30年度島根中央子牛共進会を開催し、東部地域から選抜された肉用雌子牛39頭の出品がありました。

審査の結果、各区の優秀賞首席は1区奥出雲町の部田泰久さん出品牛「あいか号」、2区飯南町の竹田原護さん出品牛「やまゆり号」が授賞し、竹田原さんの「やまゆり号」はグランドチャンピオンにも選ばれました。



グランドチャンピオンに選ばれた竹田原さんの出品牛「やまゆり号」

いわみ中央

「柿の日」イベント

～いわみ中央西条柿生産組合品評会 力作並ぶ～

いわみ中央地区本部は、10月26日（金）の「柿の日」、きんさい市場黒川店前で、西条柿生産組合主催の品評会を行いました。一年間丹精込めて栽培された西条柿（2.5kg箱）31点が出品され、関係機関の厳密な審査が行われました。今年は、夏の猛暑に干ばつ、9月以降の長雨により栽培管理が難しい状況でありましたが、出品された西条柿はどれも甲乙つけがたい品質でした。審査の結果、上位5名の方が見事に入賞されました。

また、当日は品評会に出された品を即売し、消費者へ西条柿のおいしさをPRしました。

稲垣薫生産組合長は、「今後も品評会を継続し生産者の栽培技術向上に努め、消費者へ西条柿のおいしさをPRしていきたい」と意気込みを語りました。

- 最優秀賞 太田 靖男(田橋町)
- 優秀賞 串崎 美之(東平原)
- 優良賞 平木 正美(東平原)
- 努力賞 原 征四郎(周布町)
- 努力賞 稲垣 薫(田橋町)



最優秀賞を受賞した太田さん

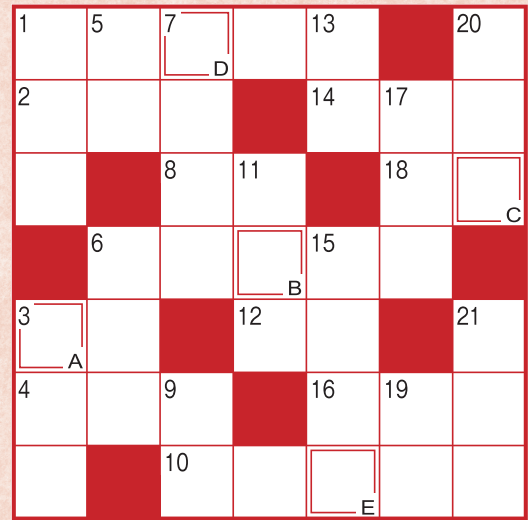
タテのカギ

- ①障子よりは破れにくそうな建具
- ③彼は——東西の文学に詳しい
- ⑤素振り中のバットが切るもの
- ⑥テンサイなどから作られる調味料
- ⑦漫談家が巧みな——で場を沸かせた
- ⑨カキやタイラギ、トコブシなど
- ⑪——考査。——手当
- ⑬寒い日には氷が張ることも
- ⑮平成31年の十二支は
- ⑰闇鶏に使われる鳥。漢字で書くくと軍鶏
- ⑲農具や収穫物を入れておく建物
- ⑳壁の——から風が吹き込んだ
- ㉒旅客機に乗ってためる人もいます

ヨコのカギ

- ①輪郭を描いた紙に目や鼻などのパーツを並べて遊びます
- ②1、2、3や一、二、三など
- ③『春の海』や『六段の調（しらべ）』を奏でる楽器
- ④小銭入れに入れる物
- ⑥鹿児島産焼酎の原料の多くはこれ
- ⑧空からちらちらと降ってきます
- ⑩山田太郎さんだったらT・Y
- ⑫怒ると頭に生えるかも
- ⑭車窓を流れていくもの
- ⑯剣道で使う武具
- ⑱ご来光を見るために登る人もいます

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え
A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成31年1月5日（土）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「トシワスレ」



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

冬のかゆみ対策

冬になると、多くの人が皮膚のトラブルに悩まされます。この時期は空気が乾燥するため、皮膚から水分が失われてしまい、乾燥やかゆみ、湿疹などにつながります。今回はそんな冬の皮膚トラブルから、かゆみについて日常生活でできる対策を考えていきます。

・**入浴**
熱い風呂や長湯は、血行がよくなることで神経が刺激され、かゆみにつながるため注意が必要です。また、入浴すると皮脂が溶けてしまいます（皮脂は天然のクリームで、皮膚の水分が蒸発するのを防いだり、細菌や刺激物質などが体内へ侵入するのを食い止める役割があります）。お湯の温度が高いほど溶けるスピードが早まります。そのため、お湯は39～41℃で、つかるのも15分以内が望ましいです。

体を洗う時も、タオルでゴシゴシすると角質層（皮膚のバリア機能）を落としてしまいかゆみの原因になります。基本的には石鹸をよく泡立て、手で優しく洗います。

・**保湿剤**
保湿剤は1日1回塗るようにします。塗るタイミングは、入浴後10分以内が望ましいです。皮膚の乾燥の程度によって塗るものを変えるとうよいです。ローション↓乳液↓クリーム↓ワセリン・軟膏の順に保湿力が高くなります。

・**暖房器具**
部屋を暖めると空気が乾燥し、皮膚も乾燥しやすくなります。暖房を使う時は同時に加湿することも大切です。こたつや電気毛布も皮膚の乾燥につながります。

・**衣類**
肌着や衣類でも、素材によっては皮膚を刺激してかゆみを強くすることがあります。綿製品などは滑らかな素材で刺激が少ないためオススメです。

かゆみ対策の大きなポイントは2つ。「皮膚を乾燥させないこと」「皮膚に過剰な刺激を与えないこと」です。ぜひ、自分の生活でできそうなものから始めてみてください。

取り組んでいます。 ～くにびき地区本部の取り組み～

イベントの秋！
エコロ祭開催で
大盛り上がり！



たまゆ

餅をまく川上副本部長



たまゆ

よさこいを披露！



かわつ

ペンギンとふれあう親子

くにびき地区本部は、11月18日と23日に川津、古江、八雲、玉湯の4地区でエコロ祭を開催しました。各支店の運営委員会や産直出荷者協議会、農政会議などが、「農」と「食」の恵みを提供することで、地域の活性化を図るために企画。各地区とも多くの来場者でにぎわいました。

当日は、新米のすくい取りをはじめ、餅まきや豚汁の無料配布などが行われました。特に豚汁の配布では、各地区とも多くの人が列をなし、スタッフが仕込みと調理に追われていました。

また、各地で趣向を凝らした企画を実施。エコロかわつでは、「ふれあい動物園」と称して、ペンギンやヤギと触れ合うことができる場を提供。エコロたまゆでは、職員による三味線やギターの弾き語りをはじめ、園児による「よさこい」などを披露し、会場を盛り上げました。

エコロやくもでは、米のすくい取りのほか、つや姫のおいしさをもっと知ってもらおうと試食を行い、PRしました。エコロふるえでは、きねつき餅の実演販売や神楽が披露され、来場者から拍手が送られました。

昨年に引き続き、夫婦でエコロやくもに訪れた梅孝治さん(70)は「スタッフの対応がよく、新鮮な野菜を安く買うことができるのでありがたい」と笑顔で話しました。



やくも

つや姫のおいしさをPR！



ふるえ

神楽を披露！



かわつ

射的コーナーも人気！



やくも



ふるえ

豚汁で体を温める

地域活性化に向けた地域貢献活動に

第6回だんだん健康ウォーク大会 ウォーキングで運動の秋を楽しむ

くにびき地区本部は11月3日、約10キロのコースを巡る「第6回だんだん健康ウォーク大会」を開催し、108名の参加者がウォーキングを楽しみました。

同大会は、「健康寿命100歳を目指して楽しく歩こう!」とスローガンを掲げ、毎年秋季に開催しています。今年のコースは、くにびき地区本部を発着点とし、くにびき大橋を南へ渡り、大橋川沿いを津田方面に歩いた後、松江縁結び大橋から西尾・川津地区を巡るコースです。

当日は、開会式で栗原令本部長が「天候に恵まれ絶好のウォーキング日和となった。景色を楽しみながら歩いてほしい」と挨拶。厚生連によるバイタルチェック（血圧測定）と、松江ウォーキング協会の吉岡利夫会長によるストレッチ体操の後、一斉にスタートしました。



▲入念にストレッチ

秋晴れの下、参加者同士で世間話をしたり、紅葉を眺めたりするなど、思い思いのペースで歩きました。ゴール後には、お楽しみ抽選会や女性部による芋だんご汁がふるまわれ、参加者は舌鼓を打ちました。

スタートの掛け声を発した高梨遼平くん(9)は、ゴール後「縁結び大橋は、車でしか通ったことがなかったけど、歩いてみるとすごく景色がよくて気持ちよかったです」と笑顔を浮かべていました。



出発前のバイタルチェック



スタートの掛け声を発する高梨親子



吉岡会長を先頭に出発!



川沿いを歩く参加者



しじみご飯も大盛況!



米のすくい取りに長蛇の列

つきたての餅などを販売。また、たまごの無料配布やJA厚生連による健康相談コーナー、地元の特産物が当たる抽選会もあり、会場は盛り上がりしました。

町内に住む女性は「長蛇の列でしたが、米もたまごももらえたので並んだ甲斐があった。身近なところで、健康相談ができてうれしい」と笑顔で話しました。



農産物を買求める来場者

その後、地元産の農産物や宍道支店運営委員会によるしじみご飯、くにびき女性部宍道支部による健康相談コーナー、地元の特産物が当たる抽選会もあり、会場は盛り上がりしました。

町内に住む女性は「長蛇の列でしたが、米もたまごももらえたので並んだ甲斐があった。身近なところで、健康相談ができてうれしい」と笑顔で話しました。

同産業祭は地域の交流促進と地元企業のPRを図ろうと、宍道支店運営委員会、まつえ南商工会宍道支部、松江市農政会議宍道支部などが、毎年開催しています。

開会式では宍道支店運営委員の伊原幸俊委員長が「すくい取りの米や餅まきの餅も宍道で出来た米を使用して。丹精込めて作った農産物を味わってほしい」と挨拶。

丹精込めた地元農産物を販売! 宍道町産業祭開催

地元農産物や地元企業の商品が一堂に集う「宍道町産業祭」が11月4日、宍道支店駐車場で開催されました。会場には地域住民などが多数訪れ、買い物や米のすくい取りなどを楽しみました。

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



キッズサッカー大会開催! 24チームがボールを追いかけ友情深める



「第16回くにびきふるさとふれあいカップキッズサッカー大会」（主催…くにびき地区本部、共催…一般社団法人島根県サッカー協会松江支部）を11月10、11日の両日、松江市北公園多目的広場で開催。市内の24チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

同大会は、社会貢献活動の一環としてサッカーを通じて子どもたち同士が友情を深めながら、明るく健やかに成長することを願い毎年開催。参加対象は小学4年生以下の選手で、8人制の15分ハーフ。24チームを4グループに分け、予選リーグ、順位決定戦を行いました。

初日の開会式では、栗原令本部長が「気持ちの良い秋晴れとなった。ミスを恐れずのびのびとプレーしながら友情を深めてほしい」と呼び掛けました。

その後、松江南ユナイテッドフットボールクラブBの渡部剣真君の宣誓の後、キックオフ。子どもたちは、お互い声を出し合いパスを回したり、強烈なシュートを繰り出したりするなど、日頃の練習の成果を発揮しました。得点が入ると、応援していたチームメイトや家族から熱い声援と拍手が送られていました。予選終了後には、支店長がゴールキーパーとなり、子どもたちとPKバトルも行われ、大人顔負けのシュートに翻弄される一幕もあり大いに盛り上がりました。

元気に選手宣誓



ゴールめがけてシュート!



PKバトルも大盛り上がり



Cグループ 大庭ジュニアフットボールクラブ



Aグループ 東出雲フットボールクラブホワイト



Dグループ 川津フットボールクラブ



Bグループ 松江南ユナイテッドフットボールクラブB

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

サンサン女子大 話題のハーバリウムを手作り！

くにびきサンサン女子大は11月20日、教育文化センターSan・san館で「縁起の良いハーバリウム講座」を開きました。第6期生と院生あわせて49名が参加し、プリザーブドフラワーや水引などを使い、思い思いの作品を作りました。

ハーバリウムは、生花や葉を特殊液に沈め、水分を抜いたもの（プリザーブドフラワー）などをガラス瓶に入れ専用のオイルに浸し、好みに合わせてアレンジデザインできることから、近年女性を中心に人気を集めています。

冒頭、講師の影山和美さん（家の光地方講師）が「カラフルな水引を一緒に入れることで見た目も華やかで、縁起の良い作品に仕上がります」と説明し、作業を開始しました。

学生たちは、色味を考えながらプリザーブドフラワーや水引を選択。水引を結ぶことに苦戦しながらも、互いに協力しながらオリジナルフラワーを完成させました。

学生は「オイルを入れると透明感がでてとても綺麗になった。人気があるのが納得できる」 「最近よく見かけて気になっていたので作ることができてよかった」と自身の作品を眺めながら話しました。



完成したハーバリウム



講師のアドバイスを受ける学生

女性部営農加工グループ こんにやく作りで交流深める！

くにびき女性部営農加工グループは11月11、12日の両日、教育文化センターSan・san館で、「手づくりこんにやく」に挑戦しました。生のこんにやく芋をそのまま用いて作るこんにやくは、手づくりでしか得られないせいたく品。ぜひその味を知って欲しいと企画。両日で、75名の部員が参加し、和やかな雰囲気で作業を開始しました。

まず、生のこんにやく芋を軟らかくなるまで茹で、ぬるま湯を加えながらミキサーで粉碎。ボウルに移し、炭酸ナトリウムを加えて粘りがでるまで混ぜました。その後、しっかりと煮沸してアクを抜き、水にさらして何とか完成しました。

苦勞して作ったこんにやくを試食すると、香りがよさざわりの良さに参加者から驚きの声が上がりました。

参加した部員は「粘りが出るまでかき混ぜる作業は大変だったが、おいしいこんにやくができたので満足」と笑顔で話し、家庭に持ち帰りました。



粘りがでるまで混ぜる作業

大相撲福岡場所など九州を満喫！ ～年金友の会親睦旅行開催～



くにびき年金友の会（三島武会長）は11月12、13日の両日、大相撲福岡場所の観戦や九州の名所を観光する親睦旅行を実施しました。56名の会員は、1泊2日の旅行を楽しみました。

本企画は、会員同士の健康と教養を高め、また交流を深めるため、毎年実施しています。

初日は、福岡国際センターで大相撲福岡場所を観戦。力士たちの迫力満点の取り組みに歓声を上げ、夕食はふぐ鍋など豪華な料理に舌鼓を打ちました。

翌日は、かつて日本陸軍が東洋一と誇っていた大刀洗飛行場の歴史を物語る「大刀洗平和記念館」の見学や、大分県に位置する九州の小京都「天領日田」の街並みを散策し、思い思いにゆったりとした時間を過ごしました。

参加者は「大相撲を初めて生で観戦したが圧倒された。天候にも恵まれ、日頃の疲れを忘れることができる良い旅行だった」と笑顔で話していました。

組んでいます。 ～くにびき地区本部の取り組み～

甘くておいしい「ほしがき」をお届け！ 県内外へ出荷が始まる



出荷作業を行う様子

秋の味覚であり、松江の特産でもある西条柿を使用した「ほしがき」の出荷作業が11月16日からくにびき地区本部本庄選果場で始まりました。

11月20日までに集荷できた「ほしがき」は約4万個。大きざや形、水分量の他、異物の混入がないかチェックした後、ひとつずつ丁寧に箱詰めして、県内の市場を中心に、広島や大阪、京都など県外の市場にも出荷しました。

営農指導課の安達朋秀係長は「今年の西条柿は夏の少雨の影響もあり、小玉傾向だが非常に糖度が高い。生産者が丹精込めて作ったふっくらとまるやかな干し柿をたくさんの方に食べてもらいたい」とPRしました。

今後は、出荷量17万個を目標に、集荷に努めていきます。

お問い合わせ先
営農指導課

TEL:08552-55-3031



輸出に向け梱包開始 牡丹約2千本を台湾へ



牡丹を箱に詰める職員

本松江大根島牡丹の苗を梱包する作業を開始しました。

大輪で色鮮やかに咲き誇る松江大根島牡丹は日本一の出荷量で、海外でも人気。台湾をはじめオランダやアメリカ、ロシアなど海外に約18万本輸出しています。

当日は、台湾への輸出に向け、牡丹苗を丁寧に箱詰めし、準備。この日箱詰めした牡丹苗は、台湾の春節（旧正月）に開催されるイベントで展示販売するもの。花芽をつけた状態の牡丹苗を10ヶ月ほど冷蔵施設で保管し、春節に花が咲くように調整してきました。

八東特産事業所の岩田政彦所長は「海外でも八東町の牡丹は好評を得ている。引き続き、販路拡大に努める」と話しました。

今後は、県内外で牡丹の植栽を指導する「花育」にも積極的に取り組み、観光客へ県の花「牡丹」のPR活動にも力を入れていきます。

お問い合わせ先
八東特産事業所

TEL:08552-76-2526

農機・自動車の合同展示会 各種車両が勢ぞろい！



農機具について説明を受ける来場者

くにびき地区本部は11月23、24日の両日、農機・自動車センターで秋の合同展示会を開催し、605名の組合員や地域住民が会場を訪れ、展示された農機や自動車の数々の中から品定めをしながら購入していました。

展示会は、日頃の感謝や利用者の拡大などを目的に、毎年3回開催。

最新の農業機械や関連機械などのほか、自動車販売会社などから新車や中古車、タイヤなどを展示。特別企画として、特別価格でタイヤなどを販売したほか、記念品の贈呈、もちつき実演によるおもしろサービスやフライドポテトの無料配布なども実施し、来場者をもてなしました。

来場した森山誠さん（91）は「軽トラックを見に来たが、たくさん種類があり見ていて楽しい。農機具も安く販売していたので購入を検討したい」と話しました。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り

松江市農政意見交換会開催！ 地域農業の更なる振興に向けて



松江市農政会議（上山根晴久会長）は11月5日、営農総合センターにおいて、松江市産業経済部と「平成30年度松江市農政意見交換会」を開催し、地域の農業振興について意見を交わしました。

当日は、同会議の他、くにびき地区本部、くにびき青年連盟、くにびき女性部などの組織・団体から約60名が出席。はじめに、松江市産業経済部から、これからの松江の農業政策について説明がありました。その後、各組織の代表者から「有害鳥獣対策」「農地保全・耕作放棄地対策」「農地地消推進」

などをテーマに、それぞれ意見や要望を提起しました。同会議東出雲支部の岸本定朝さんは「遊休農地や耕作放棄地対策として農地や水田の維持管理をするための助成を拡大してほしい」と要望。また、くにびき青年連盟の安達隆行副委員長は「ブランド力を高める運動内容、地産地消推進の具体的な活動内容を教えてほしい」と要望するなど活発な意見交換が行われ、有意義な会となりました。



▲意見を述べる安達さん（中央）

松江市議会議員と意見交換！ 地域農業の振興を目指す



挨拶する上山根会長

松江市農政会議（上山根晴久会長）は11月22日、松江エクセルホテル東急で松江市議会の推薦議員と「松江市農政懇談会」を開催し、松江市の農業振興施策について意見交換を行いました。

当日は、同会議14名、市議6名が出席。冒頭、上山根会長が「担い手や後継者のためにも、農業の未来が明るくなるような意見交換をお願いしたい」と挨拶しました。続いて、市議6名それぞれから農業振興施策を含めた発言がありました。

意見交換会は朝酌地区の原慶治委員が「市内の農家が積極的に作るうと思える特産品を考えてほしい」と提起。三島良信議員（松政クラブ）が「地域の特色を活かし、一定の生産量を保つことができる特産品を地域ぐるみで考えていきたい」と回答しました。



12万袋目標

平成30年産米集荷状況

平成30年12月4日現在

一袋でも多く出荷いただきますようお願いいたします。

(単位:袋・%)

品種名	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	
			1等	2等	3等			
うるち	ハナエチゼン	10,516	9,148	2,273	5,680	1,195	29.5%	86.99%
	コシヒカリ	35,185	31,087	3,227	15,720	8,787	11.6%	88.35%
	きぬむすめ	44,243	41,517	15,458	20,605	2,674	39.9%	93.84%
	つや姫	20,964	25,044	16,331	4,971	624	74.5%	119.46%
	その他	132	165	62	73	30	37.6%	125.00%
うるち計	111,040	106,961	37,351	47,049	13,310	38.8%	96.33%	
もち	1,532	1,358	0	718	640	0.0%	88.64%	
合計	112,572	108,319	37,351	47,767	13,950	38.3%	96.22%	

※各品種の「しじみ米」は品種数量に含まれています。※1等米比率には、カントリーエレベーターの受入数量は含んでおりません。

	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	目標数量	集荷袋数	目標数量対比
			1等	2等	3等					
加工用米	1,210	1,210	171	989	50	14.1%	100.00%	120,000	108,319	90.27%

くにびき地区本部 総代説明会を開催！ ～自己改革セミナーも同時開催～

くにびき地区本部総代説明会を10月20日、サンラポーむらくもで開催しました。これは11月8日に開催した臨時総代会（4ページ参照）の事前説明として行ったもの。また、「JA自己改革セミナー」も同時に開催し、「組合員の意思を生かすJAづくり」について学びました。

地区本部総代説明会

当日は、総代140名のうち、94名が参加しました。冒頭、参加者全員によるJA綱領の唱和の後、山根盛治副組合長、栗原令本部長が挨拶。続いて、11月8日開催の臨時総代会に向け、本店の矢田篤総務部長が第1号議案として定款の一部変更について上程し、新たな運営体制の実施に伴う役員定数の変更について提案。続いて、第2号議案として規約の一部変更について上程し、新たな運営体制における「執行役員」の設置に関する規定の整備について提案しました。（変更内容は4ページ参照）

その後、稲田宗総代（八雲）が今後の体制について質問し、高木賢一専務が回答しました。



質問する稲田総代



栗原本部長



山根副組合長

自己改革セミナー

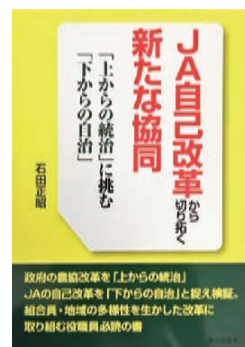
龍谷大学農学部の石田正昭教授を講師に迎え「今こそ協同組合の時代だ～組合員の意思を生かすJAづくり～」と題した、JA自己改革セミナーを説明会終了後に開催。

石田教授は著書「JA自己改革から切り拓く新たな協同『上からの統治』に挑む『下からの自治』」を用いながら「権力ではなく結合で社会を変えるために、諸個人の意志の結集を図り、助け合いの思想を共有しなければならない」と力説しました。

参加した総代は、「解りやすくとても勉強になった。地域に必要とされるJAとなるよう、互いに努力したい」と話しました。



講演する石田教授



「ふれあい訪問日」による 一声運動実施中!!

そして「組合員の皆さまとの対話」の一環として、「一声運動」を実施しています。これは、組合員の皆さまと接する機会が最も多い「ふれあい訪問日」を活用して、自己改革の取り組みや、JA事業・活動を職員との話し合いを通じて知ってもらうことを目的とした運動です。

くにびき地区本部においても、3月までの「ふれあい訪問日」で取り組みます。訪問日当日は、各地域の担当職員が「もっと近くにもっと一緒に」チラシを手に、積極的にお声がけをさせていただきます。チラシの内容はもとより、JAへの相談・要望・苦情といったどのような内容でも結構ですので是非「お話」をさせていただきます。

JAしまねでは、自己改革の実現のために、組合員・利用者から期待される統合メリット創出を目指して、全国のJAが統一して掲げている3つの基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」実現に向けて、「組合員の皆さまとの対話」を重視し、組織を挙げて取り組んでいます。

JA 農業 ことば辞典

「JAの自己改革」ってなに?

豊かな農業やくらしやすい社会を守るためのJAグループの取り組みです。

社会がどんどん変化の中で、安全・安心な農業と地域のくらしを守るために、JAは「自己改革」に取り組んでいます。農家が安心して生産できる環境づくりや、新しく農業を始める人のサポートのほか、地域のインフラ機能の充実などにも力を入れています。

JAでは、農業の他にも、信用や共済、高齢者福祉、病院、旅行などの総合事業を展開しています。あらゆる場面で、農業や地域社会に貢献するために、新しい取り組みも始めているんですよ。

地域の農業やくらしに関わる課題をふまえ JAは「自己改革」を展開しています!

JA 農業 ことば辞典

「トレーサビリティ」ってなに?

生産から消費まで、食品がたどってきた経路が分かることです。

多くの食品は、生産や加工、流通、小売などさまざまな場所や過程を経て届けられます。それぞれの事業者が入荷と出荷を記録することで、生産から消費までの食品の動きを調べられる仕組みが「トレーサビリティ」です。

これによって、食品が信頼できる流通経路をたどってきたかどうかを確認できるので、安心ですね。

コードや個体番号などを使って、消費者自身で調べられる商品もあります。JAでも取り組まれていますよ。

当日は、109会員より121人が出席。松浦会長が「各事業を通じて会員同士の関係が良好になっている。このネットワークを使って、地域をさらに盛り上げよう」と挨拶。続いて、栗原令本部長も「地域の活性化に向け、会員同士で交流を深め、情報を交換する場にしてほしい」と同会の意義について述べました。

総会では、前年度の事業報告や収支決算を承認。本年度は、引き続き会員相互の親睦や情報交換を行うとともに、JA事業や農業への理解促進に向けたPRもすすめます。

総会後の懇親会では、松江で生まれたヴォーカルグループ「Tre Generation」(通称「トレジェネ」)が登場し、ミニコンサートを開演。迫力のある歌声を披露し、会場を盛り上げました。

認しました。

同会は、当地区本部が地元企業や経済団体との連携を深め、事業の発展と相互の交流を図る目的で設立。講演会や営農施設見学会などの各事業を実施し、会員相互の交流促進につなげ、会員数も昨年より19会員増えました。

当日は、109会員より121人が出席。松浦会長が「各事業を通じて会員同士の関係が良好になっている。このネットワークを使って、地域をさらに盛り上げよう」と挨拶。続いて、栗原令本部長も「地域の活性化に向け、会員同士で交流を深め、情報を交換する場にしてほしい」と同会の意義について述べました。



挨拶する松浦会長

くにびき地区本部と取引や関係性のある157の企業、経済団体などで組織する「燦燦会」(松浦嘉昭会長)の第3回定期総会が11月28日、松江エクスセルホテル東急であり、前年度の事業や収支についての報告のほか、本年度の事業計画など全議案を承

燦燦会定期総会開催!
企業間で交流を深め、地域活性化



歌声を披露するトレジェネ



総会の様子

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



小豆ぜんざい

小豆は縁起のいい食材として、晴れの食によく使います。特に正月の三日間は十二月二十八日か三十日についた平丸餅とともに年のはじめを寿ぎ、1年間まめな様に（元気な様に）という願いを込めて祝いの膳に用意します。

【材 料】(4人分)

- ・小豆……………60 g
- ・砂糖……………50 g
- ・塩……………少々
- ・丸餅……………8個

【作り方】

- ①小豆を一晩水に浸す。
- ②浸した水をそのままにして、2～3分沸騰させた後、ゆで汁を捨ててアクを抜く。
- ③新たな水をたっぷり入れて、もう一度沸騰させる。弱火にし、指でつまんでつぶせるくらい軟らかくなるまで小豆を炊く。
- ④ゆで汁が少なくなりすぎているようであれば、1人100cc程度になるように水を加えてから、火にかける。
- ⑤煮たったら、砂糖と塩を加えて味を調える。
- ⑥別の鍋でもちをゆでる。
- ⑦器にもちを入れ、小豆汁を注いで、出来上がり。

今月の料理人

宍道支部

杉井キミエ さん(右)

江藤喜代子 さん(左)



小豆を煮ているあいだもアクを取りましょう。お好みに塩を多めに入れてみても、甘みが引き立っておいしいですよ。



地域貢献・地域活性化団体表彰

くにびき管内からは2団体

JAしまねでは「地域貢献・地域活性化事業支援金」を創設し、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等を表彰、普及支援し「地域力」の向上に努めています。

11月16日に地域貢献・地域活性化団体活動の表彰式を行い、11団体が受賞されました。当地区本部から、下記の2団体が表彰されました。おめでとうございます。

平成30年度 地域貢献・地域活性化団体活動表彰式



左から、島芝翫節保存会の池田さん、門脇代表、竹下組合長、和久羅会の古藤代表、入江さん

団体名(構成者数)	代表者等(敬称略)	主な活動内容
しまし かんぶし ほぞんかい 島芝翫節保存会	門脇 弘子 (八束町)	今まで口伝えてしかなかった三味線、太鼓、唄を譜面にし、踊りは平成10年から地元小学生(4年～6年)のクラブ活動で地域講師が指導し、公民館文化祭などに出演。地区外へも情報発信し体験会を開催するなど、保存育成に取り組んでいる。
わくらかい 和久羅会	古藤 農吉 (朝酌町)	壮年期における生き甲斐を求め、会員相互の親睦をはかり、地域連帯感を向上させるために視察研修や講演会を開催。また和久羅山や朝酌公民館の草刈りなどの奉仕活動を通じて、健康で明るい郷土づくりに取り組んでいる。

組合員加入促進運動実施中

組合員の
加入の
ご案内

あなたもJAしまねの 組合員になりませんか



組合員に加入できる方

島根県内に在住または勤務する方

組合員加入に必要なもの

- 出資金
1,000円以上
(1口 1,000円)
- 印鑑
- 本人確認書類
(運転免許証等)

くにびき地区本部限定

葬祭事業の利用割引特典

組合員の方は、祭壇料を**10%割引**いたします。
さらに「おおぞら」会員にご加入の場合は

最大 19%割引

お問い合わせは



くにびき地区本部 企画総務部総務課 (組合員窓口)

TEL0852-55-3000 Eメール:heartnet.kun@ja-shimane.gr.jp
〒690-0823 松江市西川津町1635-1 [URL]https://ja-shimane.jp/kunibiki/
(平日8:30~17:00/土・日・祝祭日休み)

ご確認ください!

ポイント 有効期限のお知らせ

平成28年に付与された「おさいふカードポイント」の有効期限は平成30年12月31日までです。対象となるポイントは、店頭端末、支店窓口などでご確認いただけます。



第25回 家の光愛読者の集い

参加者募集!

とき 2019年1月19日(土) 10:00~15:00

ところ 島根県農業協同組合くにびき地区本部
・ 営農総合センター ・ 教育文化センターSan・san館

講師 中井宏次氏

【募集対象者】家の光愛読者を中心とし、女性部員や組合員等

【募集数】300名
※定員になり次第締め切らせていただきます。

【申込締切】平成30年1月11日(金)

【入場料】無料

【申込受付】最寄の支店・店・ふれあい課まで

【主催】島根県農業協同組合くにびき地区本部
【協賛】一般社団法人家の光協会
【後援】JAしまねくにびき女性部
【事務局】くにびき地区本部企画総務部ふれあい課
TEL:0852-55-3018 FAX:0852-32-6870
Mail:community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

内容

〈教育文化センター San・san館〉

- 10:00~15:00
- ★管内農水産物と加工品即売
- ★女性部「手作クッキーとコーヒーのお店」など
- ★ムスイ鍋/エコーブ酢/青年連盟/Aコープ等立売り

〈営農総合センター〉

- 【1F】★『家の光』記事活用作品展示
- 【2F】★『家の光』図書販売 ★お弁当販売
- 10:30~開会/主催者挨拶/来賓祝辞
- 10:50~【読み聞かせ】JAしまねくにびき女性部
- 11:10~【ミニコンサート】
- 12:10~【昼食・休憩】
- 13:00~【講演】講師 中井宏次氏
「笑いとしあわせ!」
- 14:30~ お楽しみ抽選会
- 15:00 閉会



家を考えることは、
家族を考えること。

建て替えに代わる新システム 新築そっくりさん

JAでリフォーム取扱
開始しました。

「新築そっくりさん」実例

築42年

老朽化したお住まいが
木の温もりそのままの
華やかな邸宅に変わりました。



Before



After
外観

安心の8大特典

まだ使える基礎や柱を活かすことで、建替えや部分リフォームよりも優れる数々のメリットを実現しています。

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1 建て替え費用の
半額 ^{※1} | 2 追加費用のからない
完全定価制 ^{※2} | 3 大地震に備え安心の
耐震補強 ^{※3} | 4 住みながら工事で
引越不要 ^{※4} |
| 5 経験豊富な専属の
施工統括者 | 6 ご相談からお引渡しまで
一貫して担当 | 7 独自の充実した
検査体制 | 8 住友不動産ならではの
お客様センター/
アフターサービス |

※1 当社比。 ※2 お客様のご要望による工事内容の変更がない場合に限りです。

※3 一部の建物を除きます。 ※4 お住まいの状況により実施できない場合がございます。

お問い合わせは くにびき地区本部 生活総合課 TEL:0852-55-3040

毎月しまねびよりを楽しみに読ませていただいております。料理教室や女性部の活動を中心にJAの皆さんの活躍を心強く思っています。これから頑張ってください!
(T・Jさん)

不順な天候を克服した立派な農作物が各地の収穫祭で見られました。生産者の皆さんの努力の賜物だと感じました。
(K・Tさん)

プランターを使って家庭菜園に挑戦中です。春菊、ブロッコリーの次は何を植えるようか考えていたらアスパラガスの作り方が載っていたので挑戦してみようと思いました。
(Y・Aさん)

健康散歩はいつも元気になるような記事で毎回楽しく読んでいます。行動を実行するのは大変ですが、なるべく体を動かそうと思えます。
(T・Mさん)

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございます。いただいたおハガキの一部をご紹介します。



お便り
コーナー

今年度大腸がん検診を受けていらっしゃらない方にお知らせ

大腸がん検診で
早期発見
早期治療を

郵送提出による

大腸がん検診を受けましょう。

松江市
がん検診

受付場所

- 地区本部各支店・店窓口（土・日・祝日を除く、8:30～15:00）
地区本部金融業務課
- JA島根厚生連（土・日・祝祭日を除く、8:45～17:00）

受診対象

今年度中に40歳以上になる松江市民の方
（昭和54年4月1日以前生まれの方）

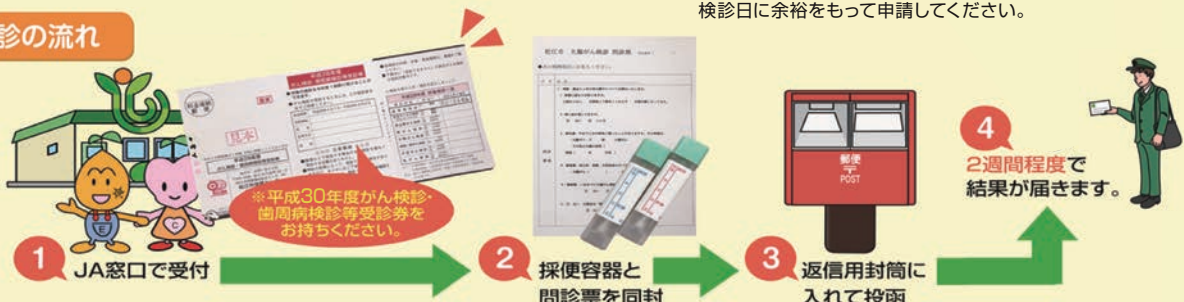
※平成30年6月以降、すでに松江市の大腸がん検診を受診された方は、受診できません。

料 金 **200円**

下記の方は料金無料	JA窓口受付時に必要な書類
平成30年4月1日で40歳・45歳以降5歳刻みの節目年齢の人	平成30年度がん検診・歯周病検診等無料受診券
生活保護受給中の人	生活保護受給証明書
市民税非課税世帯の人	がん検診等無料受診券 ※
福祉医療受給者、被爆者健康手帳所持者	それぞれの証明書類

無料受診券は、事前に松江市への申請が必要です。申請を受け付けてから発送までに10日程度かかりますので、検診日に余裕をもって申請してください。

検診の流れ



※がん検診・歯周病検診等受診券がお手元に届いていない場合や紛失した場合は、松江市保健センターにお問い合わせの上、事前にご準備ください。

申込期間

平成31年1月9日(水)～
平成31年2月15日(金)

お問い合わせ先

【委託者】
松江市健康推進課 TEL 0852-60-8174
【検診機関】
JA島根厚生連 TEL 0852-22-4249

JA各支店・店窓口、
JA島根厚生連にて受付

年末年始のATM稼働のお知らせ

12月31日～1月2日の間ご利用いただけるATM
JAしまね 松江市内ATM設置場所

設置場所	稼働時間	設置場所	稼働時間
松江テルサ	12/31 9:00～19:00 1/1 9:00～19:00 1/2 9:00～20:00	乃木支店	9:00～20:00
イオン松江店	9:00～20:00	中原店	9:00～20:00
エコロかわつ店	9:00～20:00	東出雲支店	9:00～20:00
生馬店	9:00～20:00	エコロやくも店	9:00～20:00
法吉支店	9:00～20:00	エコロたまゆ店	12/31 9:00～19:00 1/1 休止 1/2 9:00～17:00
エコロふるえ店	9:00～20:00	宍道支店	9:00～20:00
津田支店	9:00～20:00	八束支店	9:00～17:00

★1月3日(木)はシステム休止のため、JAキャッシュカード・通帳取引は全国のJA・コンビニATMの全ての取引が休止となります。

組合員加入促進運動実施中

お申込み・お問い合わせは
各支店・ふれあい店・
総務課まで



フリーアナウンサーの
原奈津美さんも加入しています！

フリーアナウンサーとしてマーブルの「まるまる松江」や「釣り情報」などに出演。また、CMのナレーションやイベント、婚礼の司会など多方面で活躍中！
お仕事の依頼はnatsumi.h817@gmail.comまで

1月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で
お受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
9	水	税務相談会	古江支店 (TEL: 36-8157) 10:00～12:00
10	木	税務相談会	乃木支店 (TEL: 21-3758) 10:00～12:00
11	金	税務相談会	島根支店 (TEL: 85-2007) 10:00～12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店・店

くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、土曜日(10:00～15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※1月の土曜営業日は、19日と26日です。

◆お問い合わせは

☎ 0120-988-380

1月 ふれあい訪問日

1月16日(水)・17日(木)

ニラは 早めの株分けと更新

板木技術士事務所 ● 板木利隆

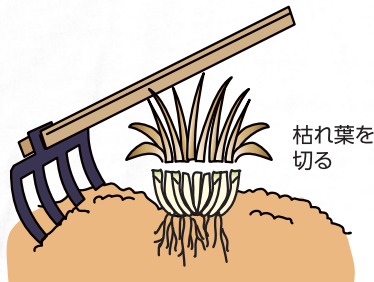
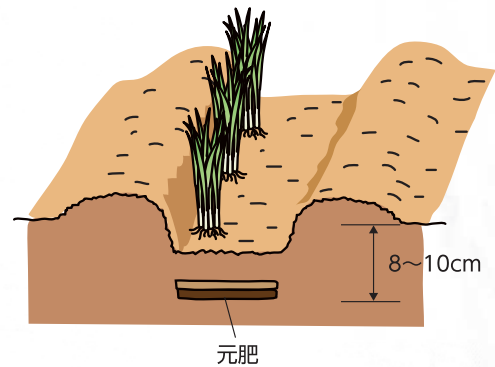
肉との料理の相性が良く、スタミナ料理などに親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した野菜といえましょう。しかし、いくら強いといっても2~3年取り続けると、株が密生気味となり、幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまいます。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。

株分けに一番良い時期は、葉が枯れ根株が休眠状態に入っている冬の間です。この頃は根に栄養が十分蓄えられているので、断根や株の分割という荒療治をしても、傷みが少なく、作業がしやすいからです。

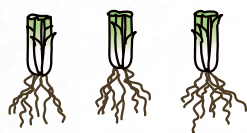
株分けの方法は、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmぐらいの高さで、鎌できれいに刈り取ります。そして株の周りによくわかさコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします。根は強大で、密に広範囲に広がっているので、全てを一気に掘り取れないので、途中で縦に切断しても構いません。

掘り上げたら土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大割りし、さらに小割りして、図のように2~3本ずつに分割します。これを2~3個まとめて、20~25cmの株間に植え付けます。

植え溝は事前に、8~10cmぐらいに深めに掘り、元肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十



力を入れて大きく掘り起こす



指先で2~3本ずつに分割する

分に施しておきます。植える際には、根株を束ねないで、平置きにするよう心掛けましょう。

溝は深めに掘って植えた根株を換気や乾燥からも守ってやります。覆土は株の上部がやや出るくらいにとどめておき、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。

そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い、良質なニラになります。

株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で、通常古株は利用しません。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

平成30年度 鳥根県種畜共進会を開催

平成30年10月20日（土）に鳥根中央家畜市場で開催し、県内各地域から選抜された肉用種牛46頭、乳用種牛32頭、合計78頭を比較展示し、改良の成果を競い合いました。快晴に恵まれ、多数の来場者があり盛況となりました。

最高位のグランドチャンピオンに、肉用種牛の部は第4区（成雌牛）の隠岐の島町 高井 芳江さん出品牛「しげしげ」号、乳用種牛の部では第6区（経産牛B）の出雲市 永瀬哲也さん出品牛「IDEE サンチエス ルイ ET」が選ばれました。

また、JA女性部和牛審査競技会も同時に開催し、農林大学校、高等学校、JA女性部から合わせて11チームの出場により、和牛審査眼を競いました。雲南市のSAKURA姫が優勝されました。

各受賞結果は以下のとおりです。

●種畜共進会 受賞結果

受賞区分	第1部（肉用種牛の部）			第2部（乳用種牛の部）		
	出品No.	市町村	氏名	出品No.	市町村	氏名
グランドチャンピオン	31	隠岐の島町	高井 芳江	604	出雲市	永瀬 哲也
第1区首席				104	出雲市	河村 保志
第2区首席				208	安来市	砂流 啓二
第3区首席	16	奥出雲町	金倉 弘美	303	出雲市	和田 健敏
第4区首席	31	隠岐の島町	高井 芳江	402	出雲市	長廻 康治
第5区首席	91組	大田市	吉田 淳一	503	出雲市	河村 保志
第6区首席				604	出雲市	永瀬 哲也

●JA女性部和牛審査競技会 受賞結果

受賞区分	地区本部	名称
優勝	雲南	SAKURA姫
準優勝	高等学校	鳥根県立矢上高等学校A
第3位	石見銀山	富山町和牛改良組合畜産婦人部
最優秀選手賞	雲南	SAKURA姫 武田 京子
敢闘賞	高等学校	鳥根県立出雲農林高等学校B 福島 菜月



第1部
肉用種牛 グランドチャンピオン
隠岐の島町 高井 芳江さん



第2部
乳用種牛 グランドチャンピオン
出雲市 永瀬 哲也さん



JA女性部和牛審査競技会
優勝 雲南地区本部
SAKURA姫の皆さん

JAしまね統合3周年企画旅行

あなたの夢を買ってつく。

FDA 直行チャーター便利用!!

FUJI DREAM AIRLINES

大河ドラマ「西郷どん」ゆかりの「奄美大島」と沖縄人気NO1離島「石垣島」を巡る

石垣島・西表島・竹富島・由布島 4島巡りと

南の楽園 奄美大島 3日間

2泊とも2名様より1部屋ご用意

出雲縁結び空港発着

旅行実施日 平成31年

2月12日(火)~14日(木)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起・着点、税込)

149,800円

※別途燃油サーチャージ1,950円が必要となります。
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

萩・石見空港発着

旅行実施日 平成31年

2月13日(水)~15日(金)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、萩・石見空港起・着点、税込)

149,800円

※別途燃油サーチャージ1,950円が必要となります。
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

現地では
JAしまね統合3周年企画として
**JA特産品が当たる
抽選会を実施!!**



掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。
※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求下さい。

TOUR 株式会社 農協観光

- 農協観光島根支店 ☎0852-26-2600
- JAしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305
- JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008
- JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699
- JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625
- JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820
- JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118
- JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501
- JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

クリスマスリースサラダ(シーザードレッシングかけ)



サラダをリースのように盛り付けます。シーザーソースも家庭で簡単に作れます。レシピ以外に、パプリカ、カリフラワー、人参や豆、リボンパスタ、ハムなど家庭にあるものを使って楽しく作ってみてください。

●材料 (4人分)

ブロッコリー……………	1/2個	紫貝割れ……………	少々
ベビーリーフ……………	1パック	パルメザンチーズ	
アボカド……………	1/2個	黒こしょう……………	少々
水菜……………	1/3袋	① マヨネーズ……………	大さじ3
レタス……………	少々	② 牛乳……………	大さじ2
プチトマト……………	5個		

●作り方

- ①ブロッコリーは小房にわけ縦に切り、沸騰した湯でさっとゆでる。
- ②レタスは食べやすい大きさに手でちぎる。
- ③水菜は4～5cmぐらいに切る。
- ④アボカドは皮をむき種をとり1cmぐらいに切る。
- ⑤①のマヨネーズ、牛乳を混ぜる。
- ⑥野菜を皿に入れリースのように飾りながら盛り付ける。
- ⑦⑤のソースとパルメザンチーズ、黒こしょうを食べる直前にふる。

鶏ハム



クリスマス、お正月に使える、簡単鶏ハムです。パサパサせずしっとりとした仕上がります。

●材料 (2本分)

鶏むね肉……………	2枚	ハーブソルト	
塩……………	小さじ2	黒コショウ	
砂糖……………	小さじ2	付け合わせ野菜	

●作り方

- ①鶏むね肉は皮を取り、厚い部分は開き均一にする。
- ②塩、砂糖をすりこみ袋に入れて2～3時間寝かせる。
- ③流水で洗い水気を取り、片面にハーブソルト、黒コショウをふる。
- ④ラップを鶏むね肉の2倍ぐらいの長さに敷いて、ハーブソルトをかけた方を内側にして巻き、ラップの両側をキャンディーのように包み輪ゴムでとめる。
- ⑤沸騰した湯に入れ15分～20分ゆでて火を消し、フタをしてそのまま冷ます。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は「牛とふれ合う子どもたち」です。雲南地区本部は食農教育の一環として、地元の子供たちを対象としたあぐりキッズスクールを開校しています。今年は畜産関係を主に学んでおり、その中で県種畜共進会を訪れたときのひとコマです。大きな牛に興味津々な子どもたちと牛の穏やかな表情を暖かいタッチで描いていただきました。

編集後記

今年も残すところ後わずかとなりました。寒い日が続きますが、体調に気をつけて過ごしたいですね。「JALしまねびより」では、今年も地域の様々な話題をご紹介させていただきました。来年もホットな情報をお伝えするため、編集一同、イノシシのように走り回ります！ (和)



【今月の表紙の原画】
 原画の全体は次のとおりです。